



宮本 理一郎 議員

# 一部事務組合の実情と枠組再編は

坪根町長 新枠組など何がベストか探りたい

本町は多くの一組※に加盟しているが、どのような内容の組合がどのくらいあるのか。

川口副町長 県内全域市町村構成の一組として、県自治振興組合などの4組合、行橋市・豊前市及び京築郡内構成では京築地区水道企業団、京築広域市町村圏事務組合(消防など)、豊前市・吉富町・上毛町構成では豊前市外2町清掃施設組合(ごみ処理)などの3組合、築上郡内で構成の自治会館等資産管理組合、吉富町・上毛町で構成の吉富町外1町環境衛生組合(し尿・火葬業務)、広域連合では、県介護保険広域連合・県後期高齢者医療広域連合、機関の共同設置ということ、豊築地区障害者程度区分認定審査会、小学校及び中学校に関する事務(上毛町・中津市)の15の一組・広域連合などに加盟している。

※一組とは一部事務組合のことで地方公共団体の一つ。共同処理する事務また業務目的により構成されている。

単独自治体では発展が難しい時代。だからこそ近隣と連携して広域全体の発展を目指していると考えているが、この運営・管理に対して効果、効能、効率性は十分であるか。

副町長 一組については執行権者の組合長とチェック機関である組合議会などの承認をもって、業務を執行している。効果、効能は十分

あると確信している。

互いに広域住民サービスと事務負担の軽減効率化と経費の節減が目的。近年、構成メンバーの思惑に少しずつズレが生じ、必ずしも利害が一致していないのではないかと。団結と目的意識の共有が低下しているのではないかと。

副町長 町や議会からも執行部や組合議員を選出しており、一組案件の議論・課題などは、その中行うものと認識している。

一つの自治体として加盟し、住民の税金で負担金、分担金を拠出しているのも事実。問題の発生や目的意識の共有に疑問が生じれば離脱や脱会、再編成などを視野に考慮しても良いのでは。

坪根町長 基本的にはそれぞれの組合議会の中で議論すべき。色々な問題点もあり、様々な調査やコストも検討したうえで新たな枠組など何がベストなのか探っていくたい。

## 子育て支援の理想と現実

子育て支援に対して高齢者福祉が比較されるが、財政的にみるとそれぞれに係る予算は。

副町長 子育て支援は以前より明らかに変わって増えている。ただ農産物が少ない時期で目に見える増には至っていない。

副町長 何か対策を打てと指示をしている。議会にも賛同を頂きしっかりとるものを作りたい。

副町長 客の流れは以前より明らかに変わって増えている。ただ農産物が少ない時期で目に見える増には至っていない。

副町長 地元企業、JA、関連店舗などに出向き、お願いしている。また、職員自らもPRに努めている。

## 有害鳥獣被害の対策は

有害鳥獣被害対応の状況は。

副町長 産業振興課長 防護柵は最近5年で見ると、町の単独事業、35件の申請で約10キロ、国の補助事業、32地区の申請で約58キロほどである。

副町長 国の補助事業は終わりと聞いているが、地域には未設置箇所がまだあると思う。町から勧奨すべきではないか。

副町長 国の補助要綱は平成29年度で終わる。被害状況は農業新聞などを見て後を絶たない

## 旧ビール館の再利用策は

旧ビール館が本町の財産になって3ヶ月経つが、現在の状況は。

副町長 カギを取り替え、清掃などをして適切な管理を行っている。

副町長 問題解決に至るまで苦難行し、手元に戻したが、今後の利用法、方向性を早急に決めるべきでは。

副町長 具体的な活用方法、活用根拠、運営方法などを役場内で協議し、30案程の利活用案があるが方向性はまだ決定していない。

副町長 この地域、エリア、ゾーンには様々な問題があり、ようやく取り戻した経緯がある。過去の教訓を生かしながら、慎重に検討していきたい。



旧大平麦酒館

育をどう考えるか。

道免教育長 乳幼児の教育は大変重要と認識している。文科省は幼児から大学まで一貫した教育の推進が必要としており、義務教育段階から高等教育段階につながる重要な教育である。人格の形成の基礎をつくるのが幼児教育と考える。

副町長 家庭を巻き込み、特に保護者が関わる領域まで踏み込んだ支援が必要と考えるが、子ども未来課長 保護者と一体になった保育は、本町に大事だと認識している。

副町長 従来の保健師による訪問とは別に、新たに保育所でも家庭訪問を考えてはどうか。他にない上毛町独自の子育て支援として誇れると思う。注目を受けるのではないかと。

副町長 初めて聞いたことで、運営上可能かどうか十分検証したい。

副町長 教育は、単年度で終わるものでなく、大人が後姿で立派な姿勢を見せることの尽きること



三田 敏和 議員

# 開店した道の駅「フィエロ」の状況は

福田企画情報課長 好調な滑り出しである



ピッツェリア「フィエロ」

副町長 開店当初の混雑は大分落ち着き、土・日・祝日は遠方より来る客も多く賑わっている。また10月、11月は気候もよく、芝生広場に設置したテーブルや2階のテラスの利用もあり、コスモスの時期とも重なって好調な滑り出しである。

副町長 10月が約7千人で約637万円、11月が約5千人で約460万円、客単価は共に約千円となっている。

副町長 味はどのお客さんも満足している。要望としては宅配を希望している方が多い。道の駅と協議し、早急に対応したい。

副町長 仮設テントを設置し、側面をビニールシートで囲うなどして対応している。

円。高齢者福祉(老人福祉・社会福祉・介護予防費)には合算でほぼ同額の5億8千万円です。一般会計の歳出を占める率は全体の13%程度で均衡している。

副町長 両親を労働者として雇用している企業にも社会的責任の一端を担う必要はあるはず。育児休暇は両親が交代でとれるとか、育児休暇中でも給料は変わらず保証するとか、行政から企業に具体的施策の要請をするべきでは。

副町長 国・県において雇用環境の改善策は実施されており、町独自の民間企業への働きかけは、十分に事前検証、調査を行ったうえで慎重に検討したい。

副町長 この事業は国からの直轄事業であり、町長が国などに対し随時、事業継続の要望活動を行っている。

副町長 平成27年度は鹿猪で389頭捕獲した。

副町長 捕獲をすれば、解体場(製品、廃棄)が必要となり、広域の協議をしていると過去の答弁であったが、進捗は。

副町長 協議はしてきたが、今のところ具体的な話しはない。

副町長 シビエとしての利活用が明記されている。利活用ができなければ、処分をするにしても解体場が必要となる。

副町長 専門的、知識経験の方々から情報や意見を聞き、検討したいと考えている。

副町長 魅力ある幼児教育で人口増に

副町長 国で幼児教育について議論されている中、質の向上は将来に亘り影響が高いと考える。特に三歳未満児からの保育を通じての教

副町長 国で幼児教育について議論されている中、質の向上は将来に亘り影響が高いと考える。特に三歳未満児からの保育を通じての教